令和5年度シラバス　歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
口腔生理学	講義・演習	石井　準之助･小林　正樹	
時間数（単位数）	**授業回数**	**年次**	**開講時期**
30　時間　（　2　単位）	15　回	1　年次	後期

授業の目的・概要

顔面、口腔およびその周辺組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の構造と機能に関する基本的知識を習得することを目的とする。

授業の到達目標

1. 口腔感覚の特徴と神経機構を説明できる。
2. 味覚や嗅覚の仕組みについて説明できる。
3. 下顎の運動や反射、咀嚼を説明できる。
4. 嚥下や嘔吐の意義と神経機構について説明できる。
5. 発声の仕組みや構音のメカニズムを説明できる。
6. 唾液の成分や作用と分泌機構を概説できる。
7. 顔面と口腔の発生を概説できる。
8. 歯と歯周組織の発生を概説できる。

授業計画

回	内容	
1	口腔顔面の感覚の分類と神経機構およびその特徴	（石井）
2	味覚や嗅覚の役割、受容機構ならびに加齢的変化と障害	（石井）
3	下顎位と下顎運動および顎反射。咀嚼運動と咀嚼能力	（石井）
4	摂食嚥下の分類と嘔吐	（石井）
5	発声機構、声の生成、構音のメカニズムと障害の原因	（石井）
6	唾液の分泌機構、性状、成分と生理作用や疾患	（石井）
7	口腔組織発生学	（小林）
8	口腔組織発生学	（小林）
9	口腔組織発生学	（小林）
10	口腔組織発生学	（小林）
11	歯及び口腔組織のスケッチ	（小林）
12	歯形彫刻１	（小林）
13	歯形彫刻２	（小林）
14	歯形彫刻３	（小林）
15	歯形彫刻４	（小林）

成績の評価方法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
筆記試験	70%	口腔および周囲組織の機能について仕組みや意義を説明できることを評価する（石井40%）（小林30%）
レポート･課題		
小テスト		
平常点		
その他	30%	スケッチと歯形彫刻（小林）
自由記載		

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学･口腔組織発生学･口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社
自由記載		

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
なし		
自由記載		

備考